

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

技能士手帳：最終仕入原価法による原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産（ソフトウェア）：定額法を採用している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 担保に供している資産

該当事項なし。

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	525,000	525,000	0
合 計	525,000	525,000	0

なお、当該資産（ソフトウェア）は、実施事業資産に該当する。

4. 保証債務等の偶発債務

該当事項なし。